

潮流



2016年 5月号
No.249

大津島データ
人口 293人 男121人 女172人
高齢化率 77.1%
(平成28年4月1日現在)

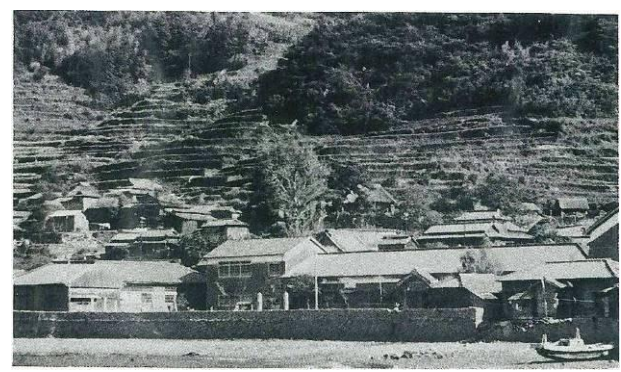
平成二八年三月末日、
昨年の中学校に続いて、
大津島幼稚園・小学校が、
児童数ゼロとなって休
園・休校となり、学び舎
の灯が故郷の大津島から
消えました。
学校の歴史をふり返っ
てみますと、明治一三年
(一八八〇)九月に大津
小学が本浦に創設され、
馬島に分校が置かれまし
た。山口県五中学の一つ
として徳山中学校が創設
されたのと同じ年です。
明治二五年、大津尋常
小学校と改称、同三六年
分教場が独立して馬島尋
常小学校となりました。
終戦後の昭和二二年四
月一日、小学校令により
徳山市立大津小学校、徳
山市立馬島小学校と改称
されました。平成五年四
月には、児童数の減少に
より、大津小学校と馬島
小学校が統合され、馬島

「学び舎の灯が消える」

文・安達寿富 (大津小昭和二五年卒)



昭和27年頃の馬島小学校



昭和32年頃の大津小学校

小学校校舎で大津島小学
校として新たに出発し、
今日に到っています。
大津島中学校は、昭和
二二年五月一日に徳山市
立第八中学校として開校
し、昭和三一年四月一日
に徳山市立大津島中学校
と改名されました。
校舎は、当初、旧海軍
高射砲台の兵舎を転用し
ていましたが、昭和二六
年九月に本浦(現在の「海
の郷」の地)に新校舎が
建設され、移転しました。
その後、生徒数の減少
により、平成一八年四月
馬島小学校の校舎へ移転
して今に到っています。
最多記録は、小学校は



大津島幼稚園卒園式 3/23

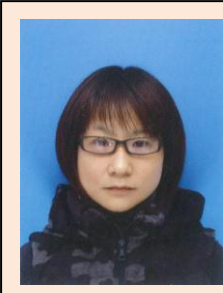
両校で児童数三五〇名、
中学校は生徒数一七二名
で、私たちの時も同じく
らいでしたが、先生方は
じめ在校生全員が知り合
いのような学校でした。
今になってみるとこのよ
うな母校を持つことの幸
せを改めて感じます。
江戸時代からの寺子屋
を含めると、何百年も連
綿と続いた学び舎の灯が
故郷から消えるのに立ち
会うことになったことを
思うと、哀惜の情ひとし
おのものがありません。
またいつの日か、賑や
かな子供たちの声が帰っ
て来ることを心から願っ
て止みません。



ありがとう集会 3/16

新任のごあいさつ

この4月から、大津島の各施設で仕事をするようになった
方々より、ごあいさつと、意気込みをいただいております。



海を渡って梅園町から通ってい
ます。家族はブルドックみ、ラ
ブラドル♀、リクガメみ人間
みの5人家族です。
泳げないくせに海が好き。
呑めないくせに珍味好き。
魚(食べる)もネコ(遊ぶ)も大好きです。
どうぞよろしくお願いいたします。
大津島ふれあいセンター 嶋末由紀



はじめまして。2月末に大津島
に引っ越して来ました、安在志
穂です。
ご存知の方もいらっしゃると思
いますが、海の郷と支所でお
世話になっています。
まだ分からない事が多く、みなさんにご迷惑を
かけることもあると思いますが、これから末長
くよろしくお願いいたします。
周南市役所 大津島支所 安在志穂さん

大津島の最新情報は、
オフィシャルFace book ページ
『のほほん大津島』で紹介しています。
<https://www.facebook.com/nohohon.oodushima/>



回天記念館に4月から勤務し
ております。以前、商工観光課
(当時)に所属していましたの
で、刈尾の海水浴場の運営をは
じめ何度も大津島には寄らせ
ていただいていたいました。
どうかよろしくお願いいたします。
回天記念館 三崎英和さん



4月1日から馬島公民館でお
世話になることになりました。
よくご存知の方も多いと思い
ますが、よろしくお願いいたします。
馬島公民館 小西佐智子さん



4月1日付けで赴任しました。
年は44歳。妻と1歳の息子、
妻の母と4人で暮らしていま
す。これまで観光や農林などで
仕事をしていました。
よろしくお願いいたします。
周南市役所 大津島支所 神杉朋史

桜まつり

文川渡辺あゆ子

三月二七日、大津島小
学校の体育館において、
桜祭りが開催されまし
た。
桜はまだほとんど蕾。
それでも心配された雨は
無く、気持ちの良い晴天
になりました。
須金地区と大津島地区
の老人クラブ交流会の
後、桜祭りのイベント。
今年は「琴生流やまぐ
ち」の皆さんによる大正
琴の演奏会、「若潮の会
(大津島出身者の会)」に
よる「スコップ三味
線?!」、そして最後に、
恒例のもちまき。
今回は自由参加の方も
多く、若潮の会のメンバ
ーも増えて、とてもにぎ
やかなイベントとなりま
した。
ちょっと寂しいのは、
この春で幼稚園と小学校
が休校となること。

いろいろなイベントを
子供たちとともに開催し
てきたこの体育館は、次
に使われるのはいつにな
るのでしようか。
校長先生は、「最後の最
後まで子供さんを待つ」
とおっしゃっていました。
それは島民全員の思い
でもあるような気がしま
す。
この体育館いっぱい
に、子供と地域の人たち
の笑い声が響く日が来る
ように、私達は考えなけ
ればいけない、そんな曲
がり角に来ている。
桜のふっくらした蕾を
見ながら、考えた一日と
なりました。
この日のために御協力
いただいた皆さん、本当
にお疲れ様でした。
来年もまたお会いしま
しょう。



移り変わる小学校を見て来て

文川古城公恵



今から六九年前（昭和二年）四月に私は此の島に参りました。引揚げ船で元関東州大連から日本舞鶴で三月二日に福川の叔父の家に来ました。教員免許状を持っていましたので叔父の勧めで、市役所に行きましたら、何処でも良いかと聞かれましたので、「はい」と答えましたら馬島小学校だったのです。島に来た時は外国に来たのでは無いかと思う程言葉の違いに吃驚（きつきょう）しました。

大津島には本浦地区に大津小学校と馬島地区に馬島小学校が有り徳山市立第八中学校は砲台山で半地下室の様な教室があった事を思い出しました。馬島小学校は今の農協の所にあり本箱で衝立替わりにして仕切られた三、四年生の教室と公民館の方には一番手前に職員室があり校長先生から用務員の人まで一つの部屋で、教室は廊下で繋がりの、六、五、一、一、一年生で教室と教室の間は板で仕切られていました。生徒数は少ない学年でも二十数人、多い学年では三十人以上いて全校

生徒は百五十人を越えていたと思います。子供達は学校に来るのに藁草履ばきで雨の降る日は裸足で傘と言っても今の様な傘でなく番傘で、それも皆が皆で無く中には「ドング」と言う半てんの様な物に色々な布で刺し子の様に縫った少し分厚い物を頭から被って走って来ていた様でした。

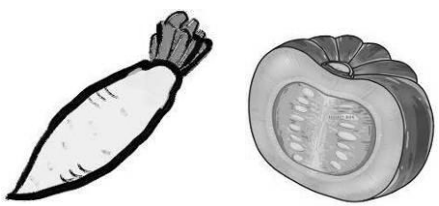
運動会は秋にありましたが学芸会、今の文化祭は旧暦の一月二六日の昼間は小学生の学習発表として劇や歌、踊りで、夕方から青年団の人達や部落の方々の演芸があり教室の仕切りの板は外され机などは後の方に寄せられて大広間となつた所に島の人が大勢集いました。そのほかに保護者の方や部落の方々の力をお借りして船を出して戴き一学期の終る前に、水泳大会や天ヶ浦の波止から馬島の波止までの遠泳もありました。農繁期の春は麦刈りと芋づるの植え付けに、秋には芋掘りと麦蒔きで、それぞれ学校は一週間ずつお手伝い休みに成っていました。

校舎も今の農協や公民館の所から回天記念館に、それから現在の大津島小学校と、戦後二十数年の間に三度移転したことに成ります。今年から休校ですが、何かもの悲しく淋しい思いが致します。

知っちょるかね

「島の子学校」

文＝松本千恵子



出会いがあれば別れがあるように、始まりがあれば終わりの時は来るもんでね。我が島の学校がついに幕を閉じたね。覚悟はしていたものの、実際に明かりが消えた暗い校舎を見るにつけ、尚一層寂しさが募るちゃあね。

「菜の花の 小さな花壇に 溢るるや 子らの歌声 響く陽の中」と稚拙な歌を作ったのは 十年も前の事じゃろうか。まだ小学校、中学校、幼稚園ともに子供がいて、年中にぎやかな声が響き、時には給食のいい匂いが漂いよったね。給食ちゅうたら私らあの時代は献立の足しに、家で出来た野菜を持って行きよったんよ。じゃから力ボチャの季節は力ボチャ、大根の季節は大根、芋の季節は芋ばかり集まるもんじゃか

ら、給食のおばさんは献立に苦勞せよつちやったらしい。サバ缶が入った味噌汁があつて骨が柔らかいのびつくりしたりもした。給食は時代毎に豊かに美味しくなつて、特に島の給食は美味しいと近年の子供達には好評じゃつたね。

遊びもずいぶん様変わりした。私らあは回天記念館のところ为学校じゃつたから、周りの山も坂も全部使つてかくれんぼをしたり、養浩館までの斜面を滑り降りたり、なかなかダイナミックに遊びよつたね。最近の子供の数も減り、思うように遊ぶことも出来んよつたよつた先生方も一緒にサッカーやドッジボールをしよつたね。

運動会、文化祭、だんだんに地域の人達の力を借りる事も多くなりながらも、最後まで続けられ本当地域の学校という形でここまで来れたのは、ありがたい事であり、忘れぬ事じゃね。

今、静かな学校には卒業記念の像や碑や手形、池が残つて春の陽を浴びよるだけ。いつか一度閉じた幕が上がる日を待ちながら。

～お知らせ～

移動図書館【やまびこ号 Jr.】

5月13日（金）・6月17日（金）
馬島巡航待合所 11:30～12:00
刈尾巡航待合所 12:20～12:50

【大津島地区社会福祉協議会よりお礼】 善意銀行へのご寄付ありがとうございます

【平成27年度】
預託者 石田政美 様
亡母 石田チサ子 様の香典返しとして
金5万円（市社協1万円、大津島社協4万円）
【平成28年度】
預託者 高松トミエ 様
亡夫 高松正 様の香典返しとして
金10万円（市社協2万円、大津島社協8万円）

【次回発行予定日】
平成28年7月1日 第250号

【編集後記】

四苦八苦しながら初の編集作業に取組みました。これからも頑張ります。また、これまで続けてこられた先輩から皆さんへメッセージが届いています。 神杉朋史

「みなさんの年齢の半分しか生きていない若輩者です」とあいさつしてから、4年が経ちました。

「ホトリを歩かんにゃ…」「わしらヤタラじゃけえ…」「島のジャコじゃけど…」など、数々のオオツシマ弁。

「なんでこのお寿司は美味しいの?」「そりゃエソがはいっちょるからいの」「エソは刺身で食べれる?」「ありゃ身がダルから、よいよすぐじゃないといけん」など、島味の秘訣。

「ツツは毛がふわふわしちよるのを採りーさん」「手が真っ黒になるから、手袋しちよーきーよ」という島の知恵。

「アイランドカップを復活させようやー」「花織ちゃんのフルートを吹きよる姿が見たいねえ」「炊き出し訓練してみちゃどうかね」「こみそは、どねーやって作るんじゃろ」という会話から生まれた、新しい取り組み。

みなさんが大切にしている宝物にたくさん触れさせてもらいました。倍返しでは足りないので、六倍がえします。

地域づくり推進課の移住推進担当に異動しましたが、今後ともよろしく願います。

六郎万淳一

ひろしのつぶやき

文＝屋野廣志



まだ幼児語も抜け切らない当時の一年生、サイタサイタと石盤に赤いチョークの先生の二重丸を喜び、書けと言われれば書き、読めと言われれば読み、ひたすら学校へ行ける喜びだった。

当時時局は恐ろしい方向に二・二六事件あり、日中事変勃発。度々の出征兵士壮行式、武運長久の赤い襷を肩に架け万歳万歳と校門より送り出し、一年生の時より校庭東の桜の木に並び、御影石造りの立派な奉安殿なる物が島内の有志の協力で出来上がり、その前を通る時は最敬礼をと定められ、それを守り、年に一度は必ず学校庭を使い村葬なる事が行われた。出征兵戦死の村を挙げての弔いであった。私も一度は先生に書いて貰った弔辞を読んだ。

確かに後に続くと言った事だろ



半世紀ぶり! ?
本浦の空に“鯉のぼり”
大友家